



BNY MELLON
INVESTMENT MANAGEMENT

情報提供資料
2021年1月

BNYメロンからのメッセージ

今こそ通貨分散を

～2021年は豪ドルを保有すべき！？～



BNYメロン・インベストメント・マネジメント・ジャパン株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第406号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

BNY Mellonからのメッセージ

今こそ通貨分散を

～ 2021年は豪ドルを保有すべき！？ ～

2020年以降、新型コロナウイルスの拡大による米国の景気悪化やバイデン新政権の誕生などを受けて、米ドルの下落傾向が続いています。

当資料では、通貨分散の必要性や足下の豪ドル相場に関する情報をご説明させていただきます。

当資料のコンテンツ

- 1 通貨分散は必要？ … 2ページ
- 2 なぜ、いま通貨分散なのか？ … 3ページ
- 3 米ドル安の局面で保有すべき通貨は？ … 4ページ
- 4 オーストラリアの新型コロナウイルス感染者数は？
… 5ページ
- 5 オーストラリアの景気の様子は？ … 6ページ
- 6 資源価格の動向は？ … 7ページ
- 7 今後の豪ドルの予想為替レートは？ … 8ページ

(おわりに) BNY Mellonから皆様へのメッセージ

1 通貨分散は必要？

毎年、どの通貨が上昇・下落するかは分からないので 分散した方が好ましい

各年によって通貨の騰落率は大きく異なるため、外貨を保有する場合は米ドルのみならず、様々な通貨に分散しておくことが大切です。

主要通貨の対円での年間騰落率

(2016年～2020年)

	2016	2017	2018	2019	2020
1	(ご参考) ブラジルレアル 18.4%	ユーロ 10.0%	米ドル -2.7%	カナダドル 4.0%	豪ドル 4.2%
2	カナダドル 0.2%	英ポンド 5.3%	スイスフラン -3.5%	英ポンド 3.0%	スイスフラン 3.9%
3	米ドル -2.7%	豪ドル 4.5%	ユーロ -7.0%	スイスフラン 0.6%	ユーロ 3.6%
4	豪ドル -3.9%	カナダドル 3.0%	英ポンド -8.1%	米ドル -1.0%	英ポンド -2.0%
5	スイスフラン -4.3%	スイスフラン 0.8%	カナダドル -10.3%	豪ドル -1.4%	カナダドル -3.0%
6	ユーロ -5.9%	米ドル -3.7%	豪ドル -12.2%	ユーロ -3.2%	米ドル -4.9%
7	英ポンド -18.4%	(ご参考) ブラジルレアル -5.3%	(ご参考) ブラジルレアル -17.0%	(ご参考) ブラジルレアル -4.5%	(ご参考) トルコリラ -23.8%
8	(ご参考) トルコリラ -18.7%	(ご参考) トルコリラ -11.3%	(ご参考) トルコリラ -30.3%	(ご参考) トルコリラ -11.8%	(ご参考) ブラジルレアル -26.3%

出所：ブルームバーグのデータを基にBNY Mellon・インベストメント・マネジメント・ジャパン株式会社が作成

※上記は過去のデータおよび実績であり、将来を予測もしくは保証するものではありません。また、上記コメントは作成時点のものであり、今後、予告なしに変更される場合があります。

2

なぜ、いま通貨分散なのか？

バイデン政権下で 更なる米ドル安（円高）リスクが台頭

2020年は新型コロナウイルス拡大による景気悪化を受けて、米国で大規模な金融緩和が実施され、米国の金利は長期金利・短期金利ともに大幅に低下しました。これを受けて、為替市場では円高米ドル安が進行しました。

さらに、バイデン政権誕生によって、新たな財務長官にイエレン前FRB議長が起用されて景気支援を重視したハト派姿勢が強まれば、一段と米ドル安が進む可能性があります。

2019年以降の米ドル/円、米国10年債利回りの推移

(2019年1月1日～2021年1月18日)



出所：ブルームバーグのデータを基にBNY Mellon・インベストメント・マネジメント・ジャパン株式会社が作成

※上記は過去のデータおよび実績であり、将来を予測もしくは保証するものではありません。また、上記コメントは作成時点のものであり、今後、予告なしに変更される場合があります。

3

米ドル安の局面で保有すべき通貨は？

豪ドルは米ドル安の局面で 上昇が期待される通貨

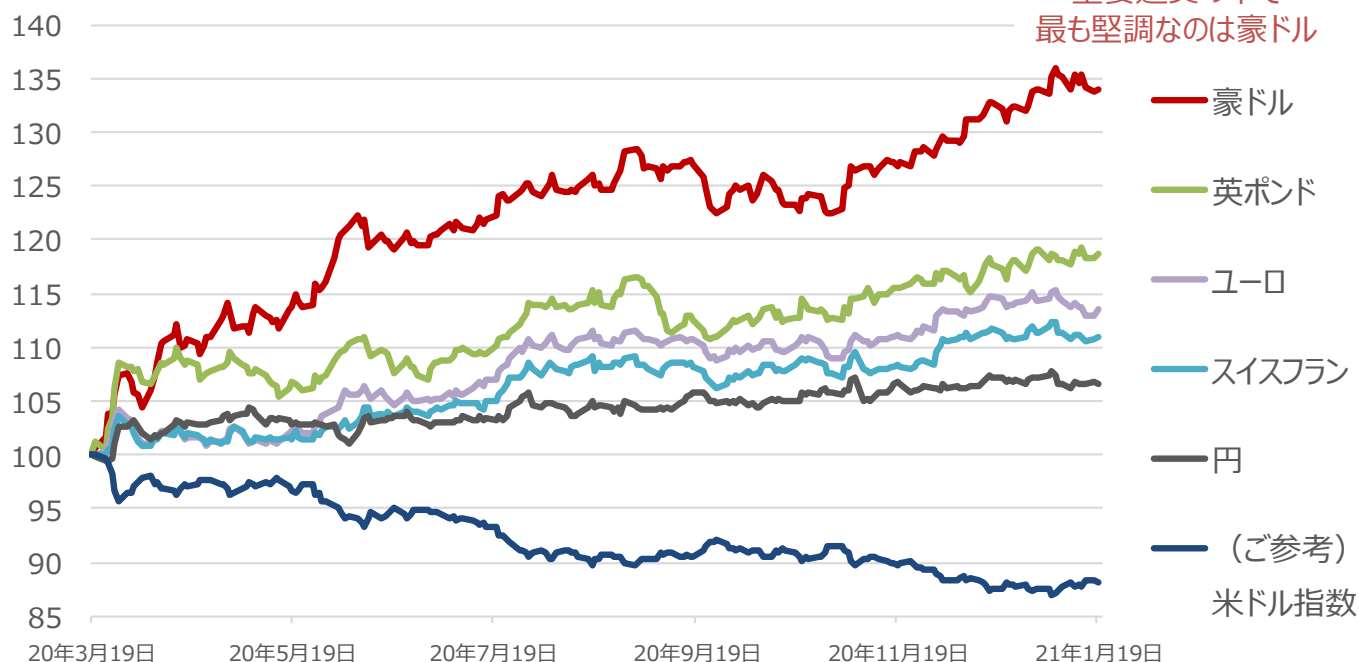
2020年3月に発生した「コロナショック」以降の主要通貨の動きを見ると、米ドルに対して大きく上昇しており、中でも豪ドルが最も堅調となっています。

今後、一段と米ドル安が進行し、さらには新型コロナウイルスのワクチン普及に伴って、投資家のリスク選好度が改善されれば、豪ドルはいっそう上昇する可能性が高まります。

コロナショック後の主要通貨の対米ドルパフォーマンス

(2020年3月19日～2021年1月19日)

コロナショック後、
主要通貨の中で
最も堅調なのは豪ドル



※起点を100として指数化

※米ドル指数は主要通貨に対する米ドルの価値を指数化したもの

出所：ブルームバーグのデータを基にBNY Mellon・インベストメント・マネジメント・ジャパン株式会社が作成

4

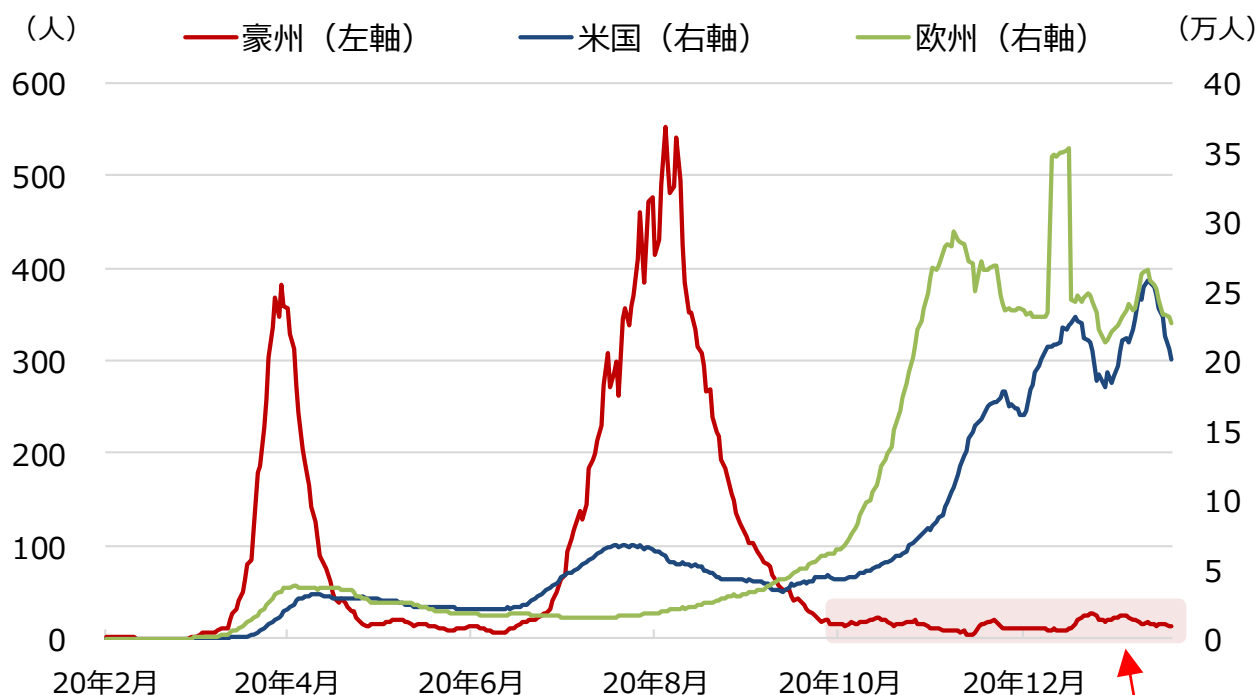
オーストラリアの 新型コロナウイルス感染者数は？

1日の新規感染者数は
15人程度 (2020年10月以降の平均値)

足下、欧米地域では新型コロナウイルスの1日の新規感染者数が20万人程度と拡大が続いているものの、オーストラリアの1日の新規感染者数は昨年10月以降、10-20人程度と抑制された状態が続いています。

新型コロナウイルス新規感染者数の推移

(2020年2月1日～2021年1月19日、7日移動平均)



オーストラリアの1日の新規感染者数は
昨年10月以降、
10-20人程度に抑制されている

出所：ブルームバーグのデータを基にBNY Mellon・インベストメント・マネジメント・ジャパン株式会社が作成

5

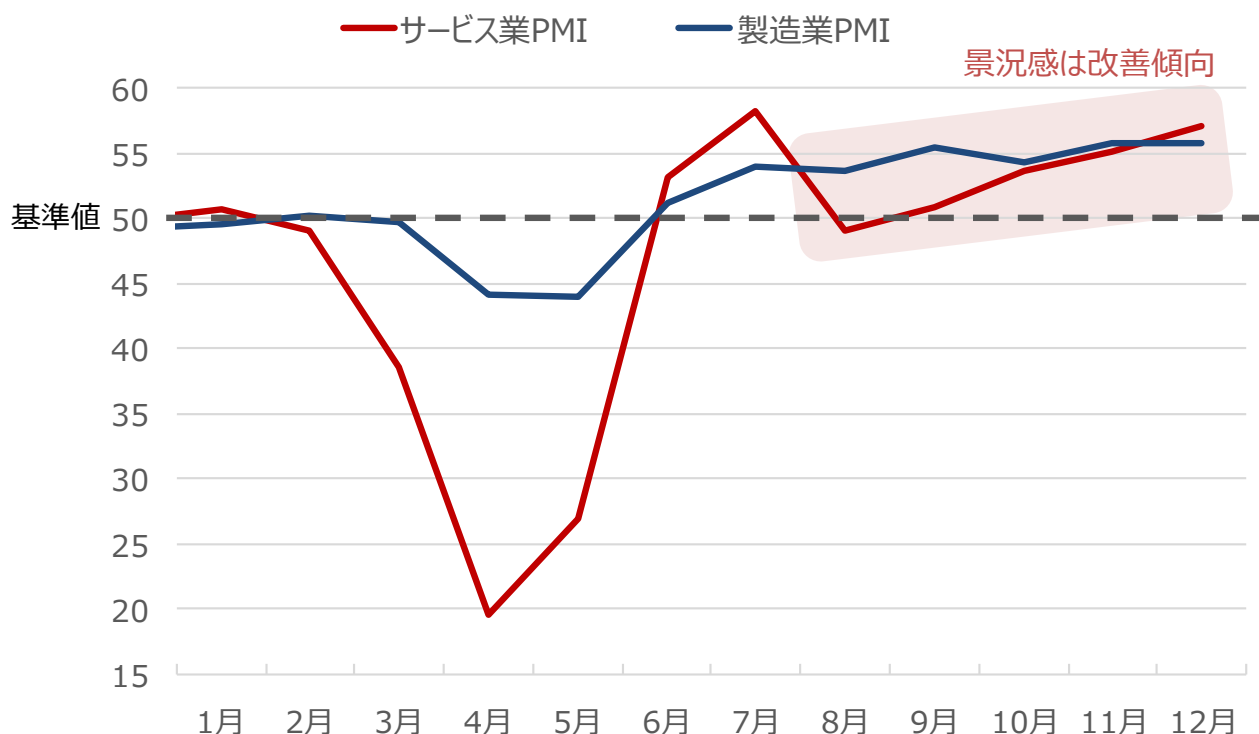
オーストラリアの景気の状態は？

新規感染者数の減少に伴い、 景況感は大きく改善

新型コロナウイルスの新規感染が抑制されているオーストラリアでは、景気が回復傾向にあります。昨年後半以降、企業の景況感を示すPMIは製造業・サービス業ともに基準値である50を上回る状態が続いています。

2020年のオーストラリアの景気指数（PMI）の推移

（2020年1月～2020年12月）



出所：ブルームバーグのデータを基にBNY Mellon・インベストメント・マネジメント・ジャパン株式会社が作成

※上記は過去のデータおよび実績であり、将来を予測もしくは保証するものではありません。また、上記コメントは作成時点のものであり、今後、予告なしに変更される場合があります。

6

資源価格の動向は？

豪ドル相場に大きく影響すると言われる 鉄鉱石や銅の価格は大きく上昇

新型コロナウイルスの影響からいち早く脱却した中国からの旺盛な需要を背景に、オーストラリアの代表的な資源である鉄鉱石や銅の価格は昨年3月末以降、大きく上昇しています。2020年の年間騰落率は鉄鉱石価格が+78%、銅価格が+26%となりました。

鉄鉱石価格：鉄鉱石スポット価格（鉄分62%粉鉱石）
銅価格：LME銅3ヵ月先物

2019年以降の鉄鉱石と銅の価格推移

（2019年1月2日～2021年1月20日）



出所：ブルームバーグのデータを基にBNY Mellon・インベストメント・マネジメント・ジャパン株式会社が作成

※上記は過去のデータおよび実績であり、将来を予測もしくは保証するものではありません。また、上記コメントは作成時点のものであり、今後、予告なしに変更される場合があります。

7

今後の豪ドルの予想為替レートは？

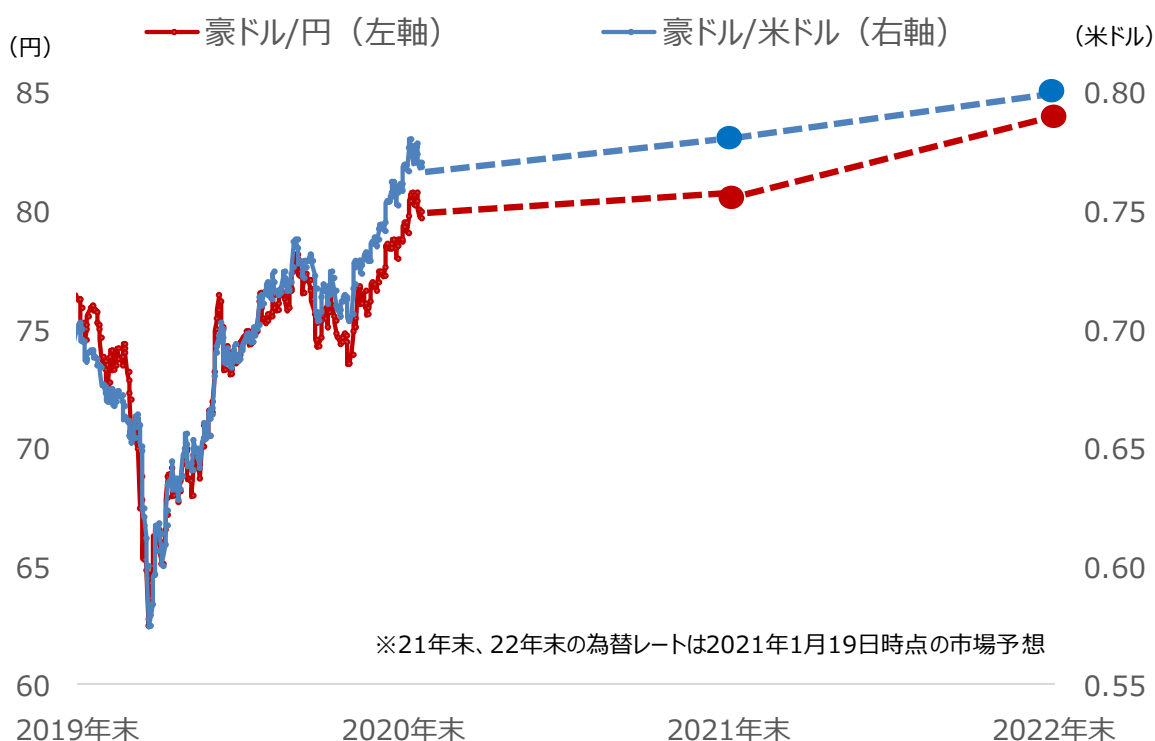
市場では 今後も底堅い推移 が予想されている

以上のように、オーストラリア国内では新型コロナウイルスの感染が抑制されており、既に景況感が改善傾向にあります。さらに、同国の代表的な資源である鉄鉱石や銅の価格が大幅に上昇していることなどから、豪ドル相場は昨年3月のコロナショック以降、堅調に推移しています。

足下、市場参加者による今後の予想為替レートでは底堅い推移が予想されています。

豪ドル相場の推移と市場予想

(2019年12月31日～2021年1月19日)



出所：ブルームバーグのデータを基にBNY Mellon・インベストメント・マネジメント・ジャパン株式会社が作成

※上記は過去のデータおよび実績であり、将来を予測もしくは保証するものではありません。また、上記コメントは作成時点のものであり、今後、予告なしに変更される場合があります。



おわりに

BNYメロンから皆様へのメッセージ

新型コロナウイルスの拡大をきっかけに、私たちの生活のみならず、世界経済を取り巻く環境は大きく変化しました。そして、それは当然、投資の世界にも大きな変化をもたらしました。

新型コロナウイルスの拡大が続く米国では、昨年、大規模な金融緩和をはじめ積極的な経済対策が実施されるとともに、大統領選挙を経て今月には正式にバイデン新政権が発足しました。今後も米国ではハト派的な政策が採られるとみられ、為替市場では米ドル安リスクが高まっていると言えます。

一方、新型コロナウイルスの発端となった中国では、既に新規感染者数が抑制されており、世界に先駆けていち早く新型コロナから脱却を果たしました。そして、日本ではあまり報道されていませんが、実はオーストラリアも中国と同様に既に新型コロナから脱却し、景気が回復しつつあります。中国からの需要の高まりを受けて、オーストラリアの代表資源でもある鉄鉱石や銅の価格は大幅に上昇し、それに伴い豪ドルも堅調な動きを見せています。

投資の世界では、各国の現在の状況を的確に捉え、変化に対応しながら柔軟にポートフォリオを組み替えることが重要です。もし、米ドルを中心に外貨を保有されているようでしたら、今こそポートフォリオを見直し、豪ドルのような米ドル以外の通貨の保有を増やし、米ドル安リスクに備えて通貨分散を図る良いタイミングなのではないでしょうか。



2021年1月

BNYメロン・インベストメント・マネジメント・ジャパン株式会社

<投資信託に係るリスクについて>

投資信託は一般的に、株式、債券等様々な有価証券へ投資します。有価証券は市場環境、有価証券の発行会社の業績、金利の変動等により価格が変動するため、投資信託の基準価額も変動し、損失を被ることがあります。また、外貨建の資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。そのため、投資信託は元本が保証されているものではありません。又、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては各投資信託の投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

<投資信託に係る重要な事項について>

- 投資信託によっては、海外の証券取引所の休業日等に、取得、換金の申し込みの受付を行わない場合があります。
- 投資信託によっては、クローズド期間として、原則として換金が行えない期間が設けられていることや、1回の解約金額に制限が設けられている場合があります。
- 分配金の額は、投資信託の運用状況等により委託会社が決定するものであり、将来分配金の額が減額されることや、分配金が支払われないことがあります。

<投資信託に係る費用について>

投資信託では、一般的に以下のような手数料がかかります。手数料率はファンドによって異なり、下記以外の手数料がかかること、または、一部の手数料がかからない場合もあるため、詳細は各ファンドの販売会社へお問い合わせいただくか、各ファンドの投資信託説明書（交付目論見書）等をご覧ください。

- 申込時に直接ご負担いただく費用・・・申込手数料 上限3.5%（税抜）
- 換金時に直接ご負担いただく費用・・・信託財産留保額 上限0.70%
- 投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用・・・信託報酬 上限 年率1.87%（税抜）
- その他費用・・・上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。

※上記費用の総額につきましては、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、BNYメロン・インベストメント・マネジメント・ジャパン株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収する夫々の費用における最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、夫々の投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前に各投資信託説明書（交付目論見書）や契約締結前交付書面をご覧ください。

<ご留意事項>

- 当資料は、BNYメロン・インベストメント・マネジメント・ジャパン株式会社が情報提供を目的として作成した資料であり、特定の有価証券の勧誘を目的とするものではありません。
- 当資料は信頼できると判断した情報に基づき作成しておりますが、情報の正確性・完全性について保証するものではありません。
- 当資料に掲載されている数値、図表等は、特に断りのない限り当資料作成時点のものであり、事前の連絡なしに今後変更されることがあります。
- 当資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等をお約束するものではありません。
- ファンドに生じた損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。



BNY MELLON
INVESTMENT MANAGEMENT